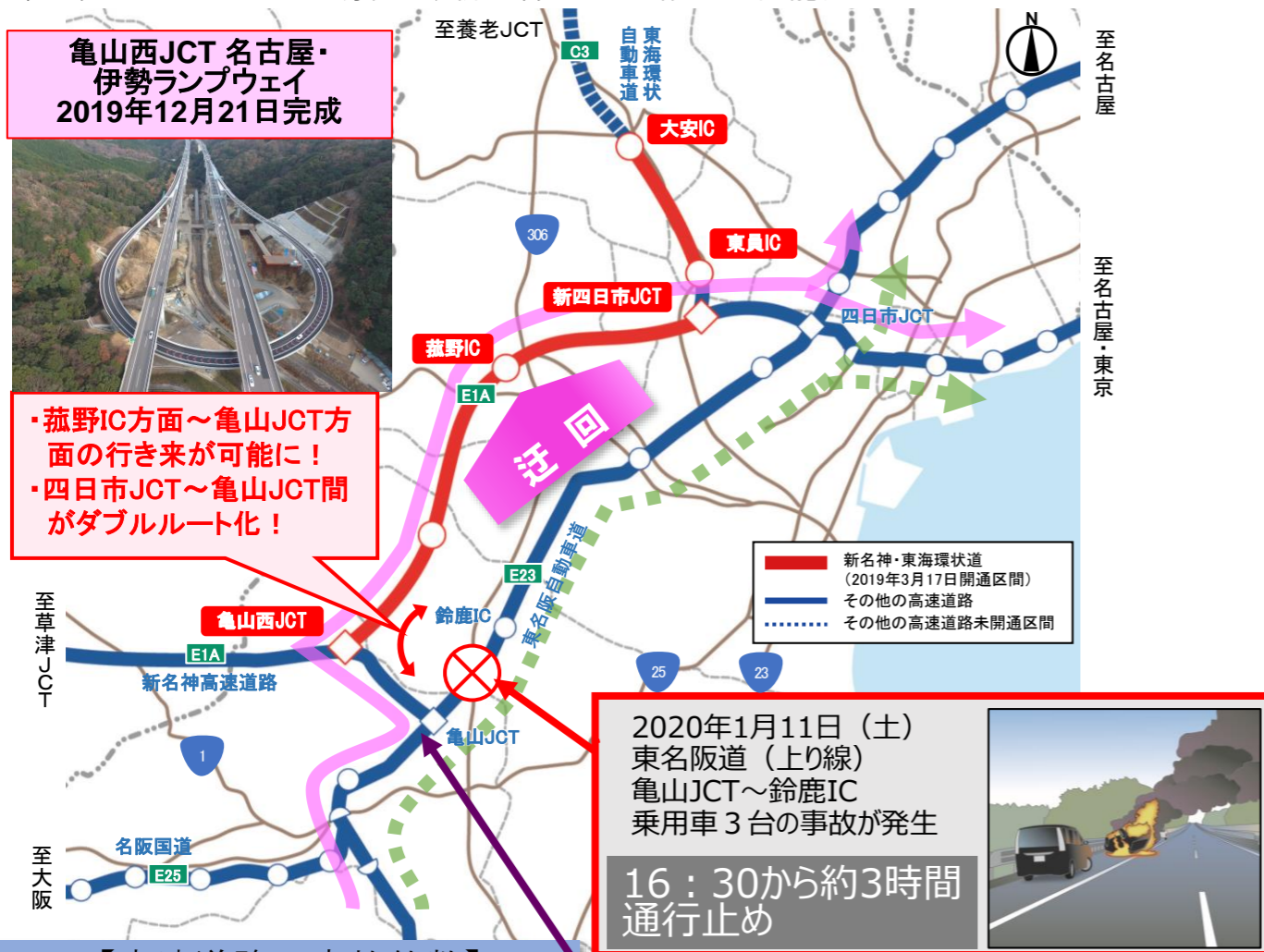
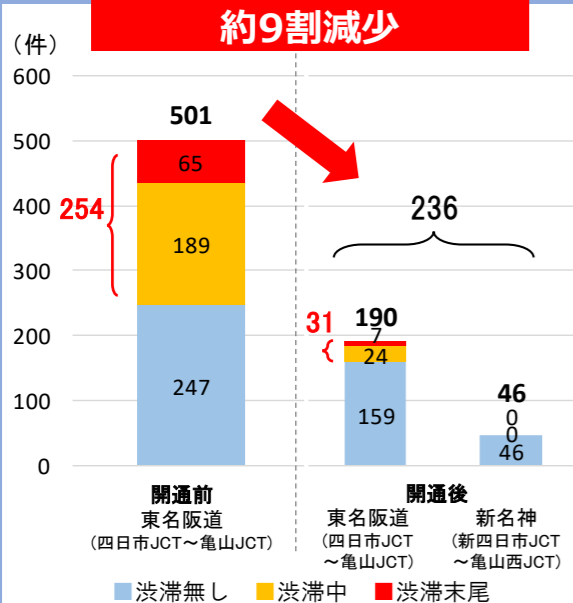


## 高速道路の安全・安心

- 新名神と東名阪道の事故件数は約5割減少、特に渋滞に起因する交通事故は約9割減少。
- 東名阪道が通行止めの場合、新名神が迂回路として機能。



**【高速道路の事故件数】**  
交通事故は約5割減少  
特に渋滞に起因する事故は約9割減少



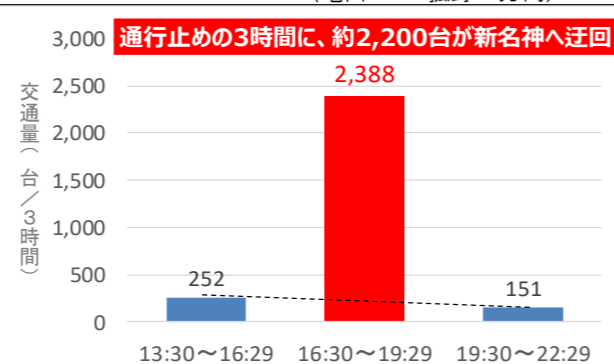
出典：中日本高速道路(株)資料  
開通前 2018年3月19日(月)～2019年2月1日(金)  
開通後 2019年3月18日(月)～2020年1月31日(金)

## 亀山JCT付近での迂回案内

亀山JCT手前の情報板に新名神で名古屋方面に通行可能である事を案内



名古屋・伊勢ランプウェイの交通量 (亀山JCT⇄菟野IC方向)



## 企業の立地促進

- 開通路線の沿線市町で、製造業を中心に多くの企業立地が促進。
- 新規立地企業および新規立地契約企業位置図

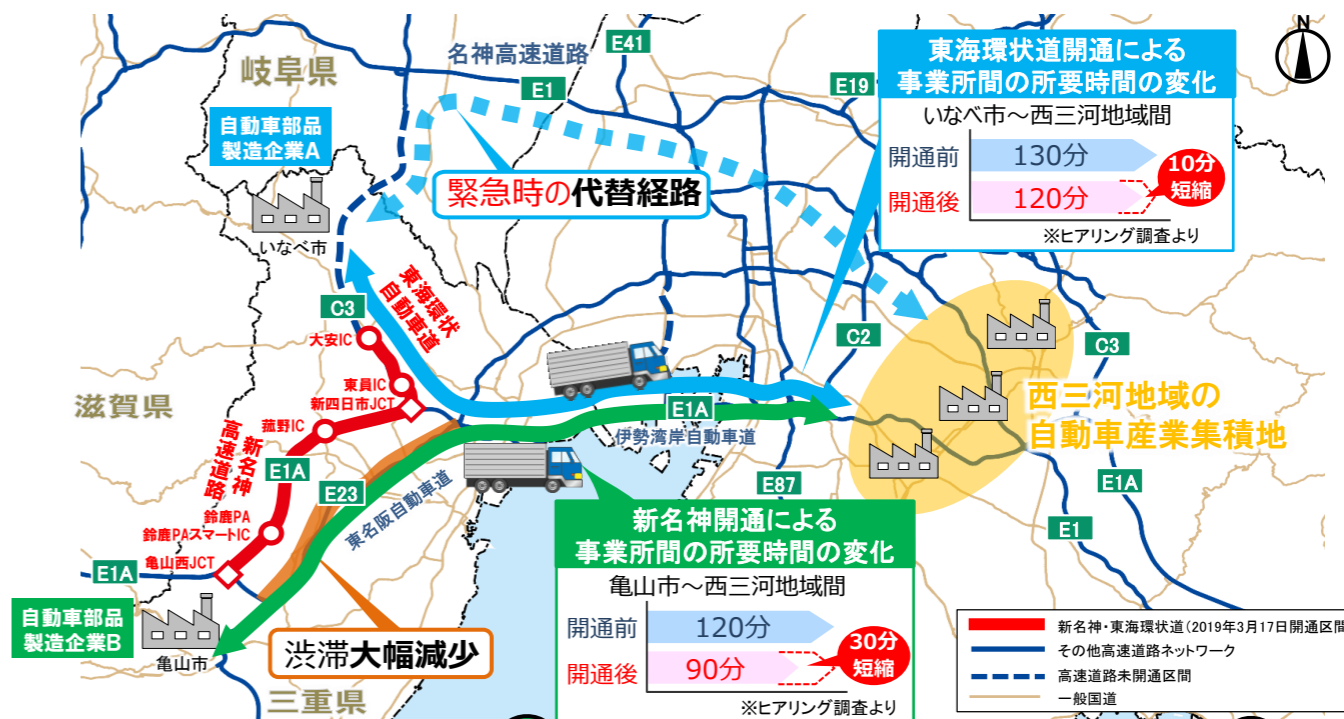


**亀山・関テクノヒルズ 新規立地契約企業の声**

○工場の新設にあたり、交通アクセスの良い場所を探していました。  
○東名阪道がものすごく渋滞していましたが、新名神の開通後は、予定通り運べる事が分かり、亀山・関テクノヒルズに立地を決めました。

## 物流の輸送効率化

- 東名阪道の渋滞緩和や東海環状道の開通により自動車部品の輸送時間が短縮。



**自動車部品製造企業Bの声**

○新名神の開通に伴い、東名阪道の渋滞が大幅に減少し、輸送時間が30分程度短縮したため、計画通り運行が出来るようになりました。  
○ドライバーは十分な休憩時間が取れることで、負荷が軽減し、事故も減った印象です。

**自動車部品製造企業Aの声**

○大安ICの開通に伴い、いなべ工場から西三河の取引先への輸送時間が10分程度短縮し、遅れる事もなくなりました。  
○東海環状道が名神までつながれば、ダブルネットワークで結ばれ、緊急時の代替経路が確保されると期待しています。